

第1学年社会科（地理的分野）学習指導案

日 時 平成25年11月15日(金) 2校時
場 所 宮古市立第二中学校 1年A組教室
学 級 1年A組 男子15名 女子13名 計28名
指導者 藤 村 和 弘

1 単元名 帝国書院「中学生の地理」 3章 世界の諸地域 5節 南アメリカ州

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領〔地理的分野〕の内容「(1) 世界の様々な地域」に該当する。この単元では、「世界の地域構成」、「世界各地の人々の生活と環境」、「世界の諸地域」、「世界の様々な地域の調査」を学習対象とし、その多様性や地域的特色を理解させる学習を通して、世界の地理的認識を養うことをねらいとしている。

「世界の諸地域」では、世界の各州を対象として、それぞれの州内に暮らす人々の生活にかかわり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的な観点から州内の特色ある地理的事象を基に主題を設定し、その追究を通してそれぞれの州の地域的特色を理解させることを主なねらいとしている。ただし、羅列的な知識を身に付けることではなく、生徒が世界の地理的事象を身近に感じて、取り上げた世界の諸地域についてイメージを構成することができ、世界の地理的認識を深めていくことが重要である。

「南アメリカ州」の学習においては、「多様な自然環境、歴史と文化、変化する農業と鉱工業を通して南アメリカの特色をとらえさせ、熱帯林破壊の事例を基に環境保全の取り組みと新たな問題を追究させる」ことをねらいとしている。

南アメリカ州には、多様な地形と気候が見られる。かつては先住民がつくった高度な文明が栄えていたが、スペインやポルトガルによって植民地支配を受けた歴史をもつ。その結果、民族間の混血が進み、様々な人種や民族の伝統が混ざり合って生まれた、独自の文化が見られる。農業や鉱業も大きな影響を受け、モノカルチャー経済の国が多かったが、近年はブラジルやアルゼンチンのように特定の産物の輸出に頼らず、経済成長を遂げる国も現れてきた。特にブラジルは先端技術産業も発達し、BRICsの一国となっている。このような大規模な開発が行われる中で、熱帯林の減少などの環境問題が深刻となり、環境保全への取り組みが進められているが、そのことが新たな問題を生みだしている。

以上のように、経済成長にともなう大規模な開発と環境保全の両立を目指す南アメリカの現状から、「経済成長と環境保全」を主題とし、南アメリカ州の地域的特色を追究していきたい。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は社会科の授業に意欲的に取り組む生徒が多い。喜怒哀楽を素直に表現し発言も活発であるため、授業中は明るい雰囲気をつくり出している。

事前アンケートによると「新聞を読む」生徒は全体のおよそ4割で、「ニュース番組を見る」生徒が全体のおよそ9割であることから、社会的な知識の多くをテレビから得ていることが分かる。また「4人班で話し合う活動」や「写真や映像を見る活動」が得意だと答えた生徒が多く見られた一方、「資料を読み取る活動」や「調べる活動」が苦手と答えた生徒の割合が高い。テレビを介して日常的に情報を受動的に得ていることで、資料を取捨選択したり、そこから得られる事実を読み取ったり、考えたりする経験が少ないことが、その要因のひとつと推測される。

これまでの授業でも、資料から正確な事実を読み取ることに多くの時間を要する生徒がみられた。そこで、その資料を使う必然性をもたせたり、読み取りのポイントを細かく指導したり、グループをつくらせて分からないところを聞き合える環境をつくらせたりするなど、正確に資料を読み取るための工夫を積み重ねてきた。その成果は少しずつだが感じられるようになり、現在は複数の資料を読み取り、そこから得られた事実をつなげて考えることを課題に授業を行っている。

(3) 指導にあたって

これまで世界の諸地域の学習を行ってきた、生徒たちの中に世界の国々のイメージが少ないと感じている。さらにこれから学習する南アメリカ州は日本から最も距離が遠く、生徒達にとって特にイメージのもちにくい州だと想像される。そのため2016年に計画されているリオデジャネイロ五輪などの世界的なスポーツイベントや、マチュピチュ遺跡やイグアスの滝などの世界遺産、サンバやタンゴといった音楽、

アマゾン川やアンデス山脈などの壮大な自然、熱帯から寒帯まである気候帯など特徴ある事象を取り上げて興味関心を高めたい。

その上で、さまざまな人種や民族の伝統が混ざり合った結果、独自の文化が生まれたことや、産業が大きく成長していることを、資料から読み取れる事実をもとに捉えさせたい。さらにブラジルのアマゾン川流域に見られる熱帯林の急激な減少から、開発と環境保護という今日的な課題について考えさせ、数々の考えがある中、現在のブラジルの発展や私たちの生活が成り立っていることを捉えさせたい。そして持続可能な開発を行っていく大切さに気付かせたい。

授業を展開するにあたっては、グラフや写真などから事実を正確に読み取れることを徹底して行っていく。同じ資料を見ても立場が違えば捉え方が異なることを、学級の中にも多様な考え方があることを通して感じさせたい。

3 単元の指導計画

(1) 目標

南アメリカ州の地域を白地図や図表にまとめて大観をつかみ、ブラジルにみる環境問題と対策がどのようなものかについて追究することをとおして、南アメリカ州の地域的特色を理解することができる。

(2) 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地理的特色に関心を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	南アメリカ州の地域的特色をそこに暮らす人々の生活の様子を「経済成長と環境保全」の主題を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	南アメリカ州の地域的特色に関する資料を基に、南アメリカ州の地域的特色について読み取ったり図表などにまとめたりしている。	南アメリカ州について、「経済成長と環境保全」の主題を基に、地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

(3) 知識の構造図

<p>【学習指導要領との関連】 内容 (1) 世界の様々な地域 ウ 世界の諸地域 世界の諸地域について、以下の(ア)から(カ)の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。 (ア) アジア州 (イ) ヨーロッパ (ウ) アフリカ (エ) 北アメリカ (オ) 南アメリカ (カ) オセアニア</p>			
<p>【中心概念】 南アメリカ州は特定の農産物や鉱山資源の輸出にたよる国が多いが、ブラジルなどのように経済成長を遂げる国も現れている。その中で大規模な開発が進み、熱帯林の減少などの環境問題も深刻となっている。</p>			
<p>【具体的知識】</p>			
<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州は多様な地形と気候を特色とする州である。 	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州の文化には植民地支配の影響が強く、様々な人種や民族の伝統が混ざり合って生まれた独自の文化が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州にはブラジルのように経済成長を遂げた国がある一方で、現在も特定の農産物や鉱山資源の輸出に頼る国が多い現実がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な開発による熱帯林破壊が進み、環境問題が深刻となっている。 環境保全の取り組みが活発になっているが、新たな問題も起きている。
<p>【基本用語等】</p>			
<ul style="list-style-type: none"> 日本とは地球の反対側 アンデス山脈 	<ul style="list-style-type: none"> 先住民がつくった高度な文明 植民地 	<ul style="list-style-type: none"> 大農場 鉱山資源 モノカルチャー 	<ul style="list-style-type: none"> 入植者 焼き畑農業 地球温暖化

<ul style="list-style-type: none"> アマゾン川 ラプラタ川 熱帯林 パンパ 	<ul style="list-style-type: none"> ラテンアメリカ 混血 カーニバル、サンバ 	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術産業 バイオ燃料 B R I C s 	<ul style="list-style-type: none"> 先住民の伝統的生活 国立公園 世界遺産
--	--	--	---

(4) 単元の展開 (全5時間)

時	目 標	主な学習活動・内容 【言】主な言語活動	評価規準 【評価の観点】(評価方法)
1	南アメリカ州の多様な自然環境の様子を大観するとともに、主な地形の名称と位置や気候の様子をとらえることができる。	<ul style="list-style-type: none"> サッカーのブラジル代表チームの写真などから、南アメリカ州への関心を高める。 熱帯林や高山、草原地帯などの写真から多様な地形をとらえる。 【言】雨温図から各地の気候を読み取り、南アメリカ州の地形と気候を関連づけて特色をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州の自然環境に関心を持ち、意欲的に調べようとしている。【関心・意欲・態度】(学習プリント) 雨温図から気候の特色を読み取り、地形との関連に気づくことができる。【技能】(発言・学習プリント)
2	南アメリカ州の文化には植民地支配の歴史の影響が強く、様々な人種や民族の伝統が混ざり合って生まれた文化が見られることを理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> カーニバルやタンゴの映像などから南アメリカの文化の特色に関心をもつ。 南アメリカの言語・民族構成と略年表を読み取り、ヨーロッパやアフリカとの関わりを理解する。 【言】アメリカ合衆国と比較し、南アメリカの民族や文化の特色をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカの民族や文化にヨーロッパやアフリカの影響が強いことを、略年表から読み取ることができる。【技能】(学習プリント) アメリカ合衆国の学習をふまえ、南アメリカの特色をまとめることができる。【知識・理解】(学習プリント)
3	南アメリカ州には特定の産物の輸出に頼る国が多いなか、開発が進み、ブラジルのように経済成長を遂げた国もあることを理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカの主な国の輸出品のグラフから、特定の産物の輸出が多いことに気づく。 ブラジルの輸出品の変化のグラフから、モノカルチャー経済から変わっていることを読み取る。 【言】ブラジルを例に経済成長への取り組みをまとめ、説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフからブラジルの輸出品が変化し、モノカルチャー経済から脱却したことを読み取ることができる。【技能】(発言・学習プリント) ブラジルの重化学工業が発展し、急速に経済成長を遂げたことを説明できる。【思考・判断・表現】(学習プリント)
4 本 時	ブラジルの熱帯林破壊の事例を通して、経済成長に伴って環境破壊が進んでいることを資料から読み取り、環境保全と開発の両面から対策を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 熱帯林減少の現状を資料から読み取り、その理由を予想する。 資料から熱帯林の減少につながる実態を調べ、日本にも関わる重大な問題であることを理解する。 【言】熱帯林の今後について資料をもとに考え、発表し合う。 バイオ燃料による新たな問題や熱帯林の減少が大幅に改善されている現状を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の熱帯林開発について、「開発」か「保全」かのどちらかの立場に立ち、①入植者、②先住民、③日本人、④地球市民のいずれかの視点から、熱帯林減少の現状とその理由、それに伴う影響を根拠に考えている。【思考・判断・表現】(発言・学習プリント)
5	「経済成長と環境保全」の主題を基に、南アメリカ州の地域的特色について理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> 「経済成長と環境保全」の主題を基に、南アメリカ州の地域的特色について文章や地図にまとめる。 【言】南アメリカ州の地域的特色についてレポートや地図にまとめ、交流し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州について、「経済成長と環境保全」の主題を基に、地域的特色を理解している。【知識・理解】(レポート)

4 本時の指導

(1) 目標

熱帯林が減少している理由やその影響について理解し、「開発か保全か」について様々な立場から考えることができる。

(2) 学習活動における評価規準

評価の観点	評価規準（概ね満足できる状況B）	努力を要する生徒への手立て
思考力・判断力・表現力	今後の熱帯林の開発について、「開発」か「保全」かのどちらかの立場に立ち、①入植者、②先住民、③日本人、④地球市民のいずれかの視点から、熱帯林減少の現状とその理由、それに伴う影響を根拠に考え、説明している。	「もし自分が先住民だったらどう思うか」、「もし日本が大豆を輸入できなかったらどうなるか」と問う。

(3) 指導構想

① 「事実をもとに考えさせる」にかかわって

本時で考えさせたいことは「これからの開発のあり方」である。それを考えさせるために次の2つの場面を大切にしたい。

① 検証場面で、ブラジルの経済発展のためにアマゾンの熱帯林が大量に伐採されてきたことをおさえさせる。② 課題を深化させる場面で、大豆や鉄鉱石を輸入している日本や、アマゾンの先住民という新たな視点から熱帯林の伐採を捉えさせる。

①については、資料から鉄道や道路開発といった原因は出にくいことが予想される。その際には「掘り出された鉄鉱石はどうやって運ばれるのか」と問い、鉄道や道路建設に目を向けさせたい。

②については、自分達の暮らしとの関わりがもちにくい生徒が出ることが予想される。その際には、「もし鉄鉱石や大豆が輸入できなくなったらどうなるか。」と問い、日本の主要産業である自動車製造業や身近にある大豆製品について考えさせることにより、我々の暮らしとの関わりを感じさせたい。

② 「言語活動」にかかわって

本時で大切にしたい言語活動を行う場面は2つある。

一つは、検証場面で、資料から熱帯林が減少している原因を調べる活動である。ここでは新出の資料から「必要な情報を読み取り」、「解釈」させるとともに、既習事項を結びつけて「説明」させたい。

二つ目は、課題を深化させる場面で、これからの開発のあり方について考えさせる活動である。ここでは熱帯林の開発という1つの事象も、考える視点によって捉え方が異なることを実感させ、それを「説明」させたい。そして、他者の意見を聞いて交流しながら、事実をもとに自分の考えをもち、それを「論述」させたい。

(4) 展開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点	資料等 ◇評価
導入 7分	1 前時までの学習内容を確認する。 2 アマゾンの熱帯林が減少している事実を知る。 3 学習問題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> 大豆やさとうきびの生産が伸びていること、牛肉や鉄鉱石の生産が盛んであることを確認する。 およそ1カ月で宮古市ほどの熱帯林が失われていることを補足する。 丁寧に読み取り、クラス全員のレディネスを揃える。 生徒の疑問を大切にす。 	①ブラジルの輸出品の変化(前時の資料) ②1986年と2001年のアマゾン川流域の画像 ③森林面積が大きく減った国
アマゾンの熱帯林の減少が、急速に進んでいるのはなぜだろう？			
展開 35分	4 学習問題に対する予想を立てる。 【予想される反応】 <ul style="list-style-type: none"> 生活のため(お金、住居) 木材として利用するため 大豆、牛肉等の生産のため(既習事項) 5 資料から熱帯林減少の原因を調べ、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 農地開発 鉱山開発 鉄道、道路開発 6 複数の視点から考える。 7 開発を進めるべきか、やめるべきか、自分の考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導し、一人ひとりの課題意識を確認するとともに、声掛けや形成的評価を行い、授業への意欲付けを図る。 畑、草地、牧場、鉱山開発、道路や鉄道開発に利用されていることを読み取らせる。 サバナについて、熱帯の中で雨季と乾季がはっきりした熱帯気候であることを補足する。 資料①と関連させ、それらがだいた、さとうきび、とうもろこし、肉類、鉄鉱石を生産するためのものであることに気付かせる。 これまでの視点が入植者のものだったことに気付かせ、日本や先住民の生活との関わりについて、資料をもとに考えさせる。 資料をもとに自分の考えをまとめさせる。 机間指導する中で生徒の状況を把握し、声をかけて思考を促すとともに、指名計画をたてる。 	④アマゾン川流域の開発地区 ⑤入植者の話、先住民の暮らし、地球温暖化、ブラジルからの輸入、(別紙) ◇開発のあり方について、立場と根拠を明らかにしながら発表している。【思】(発言、ノート)
生徒の記述例 例1) 私は開発を進めるべきだと思います。なぜならブラジルが発展していくために必要だし、日本にとっては自動車などが作れなくなると困るからです。 例2) 私は開発をやめるべき(環境を保護するべき)だと思います。なぜなら地球温暖化が進めば、みんなが困るし、先住民は生活の仕方を変えられてかわいそうだと思うからです。			
終末 8分	8 ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導し、模範となるまとめを発表できる生徒を把握する。 	
生徒の記述例 アマゾンの熱帯林が急速に減少している理由は、農地開発や鉱山開発などブラジルに住んでいる人達の生活のためだということが分かりました。 でも、それは資源を使う我々日本人や世界中の人々の生活のためでもあることが分かりました。熱帯林の減少は先住民の生活をおびやかす、地球温暖化にもつながるので、開発と環境保護を両立させることが大切だと思いました。			
	9 現状と、新たな問題について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 2008年にブラジル政府が様々な対策を導入した結果、現在の森林消失面積は、以前に比べて大幅に減少していることを補足する。 バイオ燃料の原料がさとうきびであることを教え、さとうきびの生産量が増えていることが熱帯林の減少につながるという問題に触れる。 	⑥森林保全のための取り組みの画像(バイオ燃料の開発)

(5) 板書計画

